

【 救急医療 】

総合評価

A

＜評価基準＞
A：達成している B：概ね達成している

C：やや達成が遅れている D：達成が遅れている

－：その他

○ 課題と取組

課題		取組	
課題 1	救急医療機関における患者の円滑な受入れ	取組 1	救急受入体制の強化
課題 2	高齢者等の生活や症状に応じた救急医療体制の整備	取組 2	地域包括ケアシステムにおける迅速・適切な救急医療の確保
課題 3	救急車の適時・適切な利用	取組 3	救急車の適時・適切な利用の推進

○ 各指標の達成状況

取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成状況	出典
				1年目	2年目	3年目		
取組 1	心肺機能停止傷病者（心肺停止患者）の1か月後生存率	9.4% (令和3年)	上げる	9.8% (令和5年)	10.7% (令和6年)		A	救急救助の現況 (総務省消防庁)
	三次救急医療機関の収容可能回答率	36.4% (令和4年)	上げる	59.6% (令和6年)	68.3% (令和7年)		A	東京消防庁集計
	救命救急センターの充実段階評価「S」の割合	57.7% (令和4年)	上げる	67.9% (令和6年)	64.3% (令和7年)		A	充実段階評価 (厚生労働省)
取組 1 取組 2	二次救急医療機関の応需率	43.1% (令和4年)	上げる	57.3% (令和6年)	63.4% (令和7年)		A	東京消防庁集計
取組 1 取組 2	東京ルール事案に該当する救急搬送患者の割合	7.29% (令和4年)	下げる	4.33% (令和6年)	2.93% (令和7年)		A	救急災害医療課 実績集計
取組 1 取組 2	救急活動時間 (出場～医師引継)	62分28秒 (令和4年)	短縮	56分21秒 (令和6年)	52分49秒 (令和7年)		A	東京消防庁集計
取組 3	救急相談センター (#7119) の認知率※	56.8% (令和4年)	上げる	73.9% (令和6年)	74.5% (令和7年)		A	消防に関する 世論調査 (東京消防庁)
	救急搬送患者の軽症割合	53.4% (令和4年)	下げる	52.8% (令和6年)	51.8% (令和7年)		B	東京消防庁集計

※令和4年までの調査では「知っている」「知らない」の選択肢だけであったが、令和5年調査からは「利用したことがある」「利用しようとしたが、電話が繋がらなかった」「どのような時に利用するものかは知っているが、利用したことはない」「名称程度は知っているが、どのような時に利用するかまでは分からない」「知らない」の選択肢となったため、「知らない」と「未回答」以外の数値を集計した数値を掲載